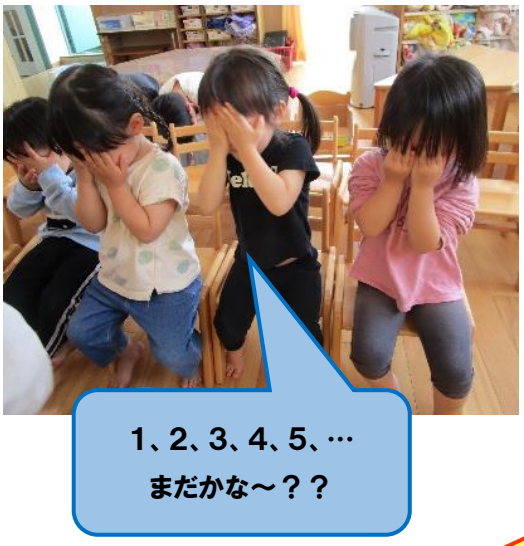
幼児だより　5月号

新年度がスタートして早くも1か月が経ちました。新しい環境にドキドキ・ワクワクしたり、不安や戸惑いを感じたりしていた子ども達でしたが、毎日過ごす中で新しい生活にも少しずつ慣れ、新しい友達とも遊び楽しんでいる姿が見られるようになっています！



イースター、たまご探し☆

4 月 15 日のイースター礼拝では、牧師先生からイースターについてお話を聞き、その後うみグループとそらグループに分かれて、それぞれたまご探しをしました。お部屋に隠されているたまごを「どこかな？」「ないよー」と言いながら探し、見つかると「あったー！！」と嬉しそうでした。

たまごの製作もしたよ！

こいのぼり製作☆

こいのぼりの絵本を見たり、写真を見たりして興味を持っていた子ども達。「こいのぼり、いつ作るの？」と楽しみにしていました。製作は、年齢ごとに合った方法で作り「できたー！！」と、自分で作ったこいのぼりを見て喜んでいました。そして、商店街に飾られる大きなこいのぼりにみんなで手形スタンプもしました！大きなこいのぼりに子どもたちも「うわー！」と興奮し、嬉しそうに手形を押していました。そして、みんなの手形の模様がついたこいのぼりができると「かわいい～」と、にっこりの表情でした！！

交通安全指導☆

市役所の指導員の方とおまわりさんが来て、交通安全指導をして下さりました。お話を聞いて、「赤は止まるー！！」「右左右見る！」などと、自分達の知っていることを話していた子ども達。DVD を釘付けになって見たり、実際に横断歩道や踏み切りを渡る練習もしました！子ども達はしっかり聞いて学んでいたので、ぜひお家でも子ども達と一緒に交通ルールについて話して確認してみてくださいね！！

今度は私が教える番

お友達が粘土で遊んでいるのを見て、一緒にしたくなったらっこ(3 歳児)の A ちゃん。
でも、どんなふうに準備したらいいのかわからない様子でした。

そこにくじら(5歳児)のＲちゃんが来て、Aちゃんに「これを持って行くんだよ」と声を掛けながら一緒に遊ぶ準備をし始めました。Aちゃんもホッとした様子で、Ｒちゃんの真似をして遊びの準備に取り掛かりました。

その後もAちゃんのことを気にかけて遊ぶRちゃん。Aちゃんが用意した粘土板の裏表が違うことに気付いて、「こっちだよ。おかお(表のマーク)がついているほうが、うえ。」と教え、Aちゃんが「どうやってするの～？」と聞くと、Rちゃんは「どんなのをつくりたいの？」とAちゃんのイメージを組み取ろうとする姿もありました。

R ちゃんがAちゃんにしたことは、今まで R ちゃんがしてもらったことなのだろうと思います。自分より大きいお友達や保育士からかけてもらった言葉や手伝ってもらった経験が蓄積されて、自然と“小さいお友達にはこういう風に接するのがいい”と学んだのだと思います。

現代社会では子どもの異年齢での交流が減り、遊びを伝承したり年上の子が年下の子に教えたりする風景がなくなったと言われており、その要因は時代や子どもの姿の変化だと言われています。
しかし、R ちゃんと A ちゃんのやりとりを見て、子どもは子どもの社会の中で伝え合う力を十分に持っていること、それを発揮できる環境があるかどうかがポイントになるのではないかと感じました。
自然な形で関わりを学び、学んだことを発揮できる環境があるのは異年齢保育ならではです。子ども達がこれからも色々な友達との関わりを経験できるようにしていきたいと思いました。

今日は何になる？

「いらっしゃいませ～」その言葉に、砂場で遊んでいたＹくんは反応しました！声のした方を見てみると歯医者さんごっこをしています。
「Ｙちゃんもする」と声のした方に向かいます。

ピカピカ✨

Ｙくんが入る前は言葉がなく動きだけだったのがＹくんの発言からＭちゃんとＡちゃんも自分のイメージを言葉にし始めました✨

その後も、「変わって」「いいよ」の言葉で役を交代しながらお医者さん・患者さんの役を楽しんでいました。
歯医者で１人１人が経験したことを遊びに取り入れ、自分なりの言葉にして遊んで行く中でイメージが合わさって１つのごっこ遊びになっていく様子が見られました。
「歯を磨かないと虫歯になるよね」「朝磨いてない」など様々な事を話ながら遊びの中で歯の大切さも感じることが出来たように思います。

イチゴを守りたい！

「あ、イチゴできてる！」とプランターをのぞく子ども達。みんな、自分達の園で実ったイチゴを食べる事を楽しみにしています。

保「イチゴってナメクジがよく食べに来るんだよねぇ。」
子「えー。いやだぁ」
保「なにか、ナメクジからイチゴを守れる方法ないかなぁ」
Ｓちゃん「はっぱで、かくしたら？」
保「う～ん。でも、ナメクジは土から出て来るでしょ？
葉っぱで隠しても葉っぱの下から良く見えてるよ」
Ｍちゃん「ふくろ、かぶしたら？」保「なるほどね。どんなふくろ？」Ｍちゃん「えっと～、ビニールぶくろ」

Mちゃんの提案に周りのみんなも大賛成。さっそくイチゴに被せてみることにしました。
保「どんなかんじに被せたらいい？」
Mちゃん「ぐるっとぜんぶ。いっこだけだとほかのもたべられちゃうから、まわりのもやって」
大事なイチゴを守ろうと、いろんなアイデアが出てきます。

Mちゃんの気づきが面白かったので、他のくじらぐみの友達にも紹介することにしました。
すると、「じっけんやな」とみんなもイチゴの成長に興味を持ちました。

Ｋくん「カラスがきたら、どうしよう」
Ｊくん「カラスも、ほいくえんのやさいとか、たべちゃう」
Ｒくん「あんな、かかしとか。」
Ｍちゃん「かかしってなに？」
Ｊくん「あのね、(両手を広げて)こんなの」
保「かかし、いいかもね。他には何かある？」
Ｈちゃん「ママのスマホでしらべてみる」
Mちゃん「“カラスがだいきらいなもの”でしらべてみたら？」

イチゴを守りたいという気持ちから、ナメクジだけでなくカラスにも対策をすることになりました。
この日は、“カラスが苦手なものはなんだろう？”を考えたり調べたりすることを宿題にして次の日にアイデアを出し合ってカラス避けを作ることにしました。

Mちゃんの気づきは、くじらぐみ皆の課題に発展しました。
保育士と子どもとの会話だけでなく、友達同士の会話から課題に気付き、それを解決するために話し合う力が芽生えていることに驚きました。この“イチゴを守り隊”の活動は、まだまだ続きそうです。今後の展開にとてもワクワクしています。

ぼくもやってみたかった！！

4 月 15 日にイースター礼拝があり、その後クラスでたまご探しをして楽しみました。
らっこぐみの 0 くん。たまご探し当日、らっこぐみはくじらぐみが隠したたまごを探しました。
0 くんは、たまごを見つけてとても嬉しそうにしていました！！

週が明けて月曜日…

　登園してきた 0 くんは、お部屋で遊び始めました。
すると、おもちゃのたまごを部屋のあちらこちらに隠し始めたのです！全部隠し終えると、今度は隠したたまごを探して集めていました。隠すのも楽しい！探すのも楽しい！そんな様子に感じ取れました。
たまご探しの日は、お兄ちゃん・お姉ちゃんが隠したたまごを探すだけだったけれど、隠すことも“楽しそう！”と思っていたのでしょうね。それを自分で遊びに取り入れてみた 0 くんの姿を見て嬉しく思いました！！
保育園に来て、0 くんは初めての経験がたくさんあることと思います。そんな中からいろいろな刺激を受け、“楽しい”“おもしろい”をたくさん見つけて、いっぱい遊んでほしいな…と、私たちは思っています！